

九工大生講師の「ものづくり教室」

電気自動車の仕組み学ぶ

市場小

福智町の5小学校で、九州工業大情報工学部（飯塚市川津）の学生を講師とした「ものづくり教室」があり、各小の5、6年生計約470人が電気自動車（EV）の仕組みを学んだ。2017年3月に開館予

定の町立図書館・歴史資料館内に3Dプリンターなどを備えた工房を設けるのを前に、ものづくりの楽しさを伝えようと町生涯学習課が1、2日に開催した。同学部のEVプロジェクトサークル「e-car」のメ

ンバーが講師を務めた。

2日にもものづくり教室を開いた同町市場の市場小では5、6年生計144人が受講。同学部4年の幸諒真さん（22）が3年かかったEV作りの工程や、電気で動

く仕組みを説明した。幸さんは「難しいと思って敬遠するのではなく、やってみて楽しさを知ってほしい」と呼び掛けた。

児童はグラウンドでEV

のパーツに触れたり、ボン

ネットの内
部を興味深
そうにのぞ
き込んだり
していた。

助手席に試
乗した6年
の進藤璃音
君（12）は

「普通の車
より静かで
乗り心地が
良かった」と
笑顔で話
した。

（広田亜貴
子）



電気自動車のエンジン部分を見入る児童たち